

平成29年第5回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成29年5月9日（火）

午後1時30分開会

開催日時	平成29年5月9日	開会 1時30分 閉会 1時55分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	教 育 長 山本 修司 教育長職務 代理者 鮎川志津子	委 員 福元 弘和 委 員 渡邊 恭秀 委 員 岡村理栄子	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 川合 修 生涯学習部長 西田 剛 庶務課長 加藤 真一 学務課長 河田 京子 指導室長 小林 正隆 統括指導主事 平田 勇治 指導主事 丸山 智史 指導主事 田村 忍	生涯学習課長 内田 雄介 図書館長 菊池 幸子 公民館長 林 利俊 庶務係長 中島 憲彦	
調 製			
傍聴者人数	6名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	報 告 事 項	1 平成30年度使用小学校「特別の教科 道徳」教科 用図書の採択について 2 小学校オーケストラ鑑賞教室について 3 その他 4 今後の日程

山本教育長

皆さん、こんにちは。

ただいまから平成 2 9 年第 5 回小金井市教育委員会定例会を開会する。

日程第 1、会議録署名委員の指名。

本日の会議録署名委員は、鮎川委員と福元委員にお願いする。

(委員一同異議なく、上記 2 名が選出された。)

山本教育長

今日は報告事項だけで、時間にゆとりがありそうなので、教育に関して日ごろ思っていることを一言ずつお願いする。

まず最初に、私からであるが、先々週、14 校の校長先生方全員と年度当初の面談をして、それぞれの小・中学校の学校の経営方針等についてお話を伺った。その中で、一つ私が印象に残ったのは、小学校の校長先生が 3 人ぐらいだったか、非常に学校現場が忙しくなって、さまざまな保護者の対応、それと地域との連携、それからさまざまな会議、それから新しい取り組み等々がどんどん増えている状況の中で、若い先生を中心に、毎日 9 時、10 時まで一生懸命残って仕事をしている状況があるので、何とかそういうところを改善したいというお話があった。これは、私は大きな問題だと思っているので、内部でも検討しなければならないと思っていた。

そして、きのう実は、中央線沿線の教育長七、八人が集まって懇談する機会があったが、その中でも、今の学校現場が非常に忙しくなって、先生たちが大変な状況になっていると。これを解決するためにはどうしたらいいんだろうかということが大きな話題になった。

今後、何かしら我々のほうで対応していかなければならない、その検討をしていきたいと考えているところである。

鮎川委員、お願いする。

鮎川教育長  
職務代理者

4 月になり、新年度が始まった。学校教育も順調に授業が始まっている。4 月に学校公開があった南中学校に訪問してまいった。年度初めの学校公開ということで、大盛況で、多くの保護者の方が来ていた。

道徳授業地区公開講座ではなく、通常の学校公開だったが、3校時目に一斉に道徳の授業をされた。道徳の教科化ということで、どのような道徳が展開されていくかを、保護者の方々に、お見せできる機会が、とてもよかったと思った。

小金井は、どの学校もすばらしいが、南中学校に伺って、すばらしい点がとてもたくさんあった。学校経営の点から、校長先生が率先して、何が必要で何が必要でないかということを考えて、必要なことは変えていこうと動いてくださっていることがとてもよくわかった。例えば、今まで校長室にあった担架を必要なときに出せるように玄関へ、AEDも、見えないところではなく、一番目立つ玄関に移動させて、子どもたちの安全の為に、または、社会教育でもすぐ使えるように配慮してくださっている。ほかにも、ご報告すると切りがなくなってしまうが、今までと同じではなく、変えるべきところは変えるというお心が伝わってきた。

生涯学習は、今日、報告があると思うが、ウォーキングフェスタが大成功だったと思う。どうもありがとう。私も元校長先生と一緒に参加させていただいたが、中学生ボランティアをはじめ、とても爽やかな気持ちで参加できた。後のご報告を楽しみにしている。よろしく願います。

以上である。

山本教育長

ありがとう。

福元委員、願います。

福元委員

先ほど山本教育長から話があった、教員の働き方ということについては、やはり深刻に受けとめなきゃいけない時期に来ていると思う。文科省も東京都も動き始めている。すでに取り組んでいる本市だが、引き続き、さらに考えていく必要があると思っている。

もう一つは、私たちは子どものために何かやっているというか、いつも子どもに何かを与えているように感じることが多い。ところが、この前のウォーキングフェスタでは、参加している方々が、ボランティアの子どもたちの声かけにはすごく幸せそうな顔をして反応しておられるのを何度も目にした。私たちが子どもに何か与えているだけじゃなくて、子どももこうして大人にいろんなものをいっぱい与えているんだなというのを改めて強く感じた。小金井市も、

いい状況で進んでいるなと思った。

以上である。

山本教育長

ありがとう。

渡邊委員、お願いします。

渡邊委員

私は商工会の話であるが、産業フェスタということで、今まで三鷹で3年、武蔵野で3年、今年の11月8日、9日は小金井で、3年間実施されることになり、ものづくりの企業が約80社、宮地楽器ホールに参加するが、8日は講演会だが、9日が企業の商品紹介とか、ものづくりの説明とかがある。これは夕方までやっているの、できたら小さいお子さんにも、せっかくのいい機会なので、見学に来ていただければいいと思った。

以上である。

山本教育長

ありがとう。

岡村委員、お願いします。

岡村委員

私も先月、4月28日に東京新聞で大きく取り上げられた、中学校教員57%が過労死ラインというのは、医者としてすごく大変だなと思った。というのは、私も教育委員に参加して、余りにも学校の先生方がお忙しいなと思っていたが、16年度の調査で、10年間で5時間勤務時間が増えたということと、中学校では部活動が盛んに行われて、その監督とかがすごく大変だということを聞いていて、ちょっと心配のラインである。

私も学校に参加してみて、わりと家庭でやらなきゃいけないこととか、子どもたちの問題とか、結構学校が一生懸命やってくれているんだけど、それでお仕事が増えている、ちょっと心配だなと、早急に対応したいと国が言っているので、それと一緒に協力を市の方も考えたほうがいいと思うが、この間、事務処理一本化ということで、それも大分よくなる傾向だと思うので、そちらも楽しみにしているので、よろしくお進め願う。

山本教育長

ありがとう。

それでは、日程第2、報告事項を議題とする。

順次担当から説明願う。

1 番、平成30年度使用小学校「特別の教科 道徳」教科用図書の採択について、指導室長、願います。

小林指導室長 平成30年度使用小学校「特別の教科 道徳」教科書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号に基づき、教育委員会が採択することとなっている。

教科書採択にかかわる法令及び要綱等に従い、平成30年度使用小学校「特別の教科 道徳」教科用図書採択の調査研究及び事務手続を進めてまいる。

具体的には、報告事項1資料をごらん願う。

小金井市教育委員会に採択に必要な資料を得るために、各学校の報告書をもとに、教科書選定調査委員会及び教科ごとに教科書調査委員会を設け、調査研究及び指導作成をしていただく。

そのほか、主な事務日程等については、資料を参考にしてほしい。報告は以上である。

山本教育長 質問がいろいろあるかと思うが、指導室長、せっかくの機会であるので、道徳が特別の教科となったこれまでの経緯について、簡単に解説願う。

小林指導室長 「特別の教科 道徳」については、平成25年2月の教育再生実行会議第一次提言や、同年12月の道徳教育の充実に関する懇談会報告を踏まえ、平成26年10月に中央教育審議会において答申が取りまとめられた。この答申では、道徳教育の充実を図るためには、充実した教材が不可欠であり、「特別の教科 道徳」の特性を踏まえ、教材として具備すべき要件に留意しつつ、民間発行者の創意工夫を生かすとともに、バランスのとれた多様な教科書を認めるといふ基本的な観点に立ち、中心となる教材として、検定教科書を導入することが適当であると提言された。

この中央教育審議会答申を踏まえ、文部科学省において、学校教育法施行規則等の一部改正が行われ、道徳の時間が「特別の教科道徳」として新たに位置づけられ、平成30年度から小学校において、平成31年度から中学校において、「特別の教科 道徳」の検定教科書を用いた授業が順次実施されることになった。

以上である。

山本教育長

ありがとう。

それでは、質問があったらお願いします。いかがか。

鮎川教育長  
職務代理者

私は、教育委員になり9年目か。何回か教科書採択を経験させていただいたが、道徳の教科書採択というのは初めてである。

これまでの教科書採択と違いはあるのか、教えていただけるか。

小林指導室長

今年度の小学校「特別の教科 道徳」の教科書採択は、小金井市立学校使用教科書採択のための調査研究に関する要綱に基づき、資料にも示しているとおおり、例年実施している小・中学校の教科書採択と同様の手順である。

教科書の展示期間においては、これまでの教科書採択の中で最長で1カ月余り、5週間を設定してあり、多くの市民の方々からご意見をいただきたく思っている。

以上である。

鮎川教育長  
職務代理者

特別の教科であるが、教科書採択の手順は、今までほかの教科と同じということか。わかった。ありがとう。

山本教育長

ほかにあるか。

福元委員

教員、学校が実際にその見本を見ながら教科書について調査研究できる期間については、どのように確保していかれる予定なのかを教えていただきたい。

小林指導室長

教員の調査研究期間についても、これまでの中で長い、5週間を設定している。平成29年は32日間、平日24日間の研究の時間ということになっている。

以上である。

福元委員

研究の期間を5週間とっていただき、学校も十分研究できると思う。よかったと思う。

- 山本教育長 1校当たり5週間か。
- 小林指導室長 そうである。
- 山本教育長 ほかにあるか。
- 岡村委員 教科書はどこに展示して、この5週間というのは、いつからいつまでか。
- 小林指導室長 今年度、小金井市立図書館本館と、きたまちセンター内の小金井市立図書館貫井北分室に展示することとした。今年も前回以上に多くの市民の方々に閲覧していただきたく、この2カ所に展示している。また、閲覧スペースをより確保するという点から、図書館貫井北分室と、図書館本館は2階に展示することにした。
- 展示期間であるが、これまでの中で最長で1カ月余り、5週間、今年度は5月29日月曜日から6月30日金曜日で予定をしている。
- 山本教育長 ということである。
- 岡村委員 閲覧スペース、広くつくってほしいとおっしゃっている方が多いので、ゆっくり見られるようにしていただいて、ありがとう。
- 山本教育長 ほかにあるか。
- 渡邊委員 多くの市民の方々が関心を持つ事項だと思うが、市民の方の意見はどのように反映されているのか。
- 小林指導室長 教科書選定調査委員会には保護者代表として2名の方が委嘱されており、直接意見をいただくことができる。また、5月の末から1カ月余り、5週間にわたり、小金井市立図書館本館、図書館貫井北分室において、市民の方に教科書を閲覧できるようにしている。その際に意見を書き込むことができる用紙を用意している。
- 以上である。



山本教育長 よろしいか。

渡邊委員 はい。

山本教育長 この点については今までと同じということか。

小林指導室長 はい。

山本教育長 ほかにいかがか。  
それでは、2に移る。小学校オーケストラ鑑賞教室について。

小林指導室長 小学校オーケストラ鑑賞教室についてご報告する。

本年度は4月25日火曜日、午後2時から3時10分まで、武蔵野市民文化会館でオーケストラ鑑賞教室が開催された。この鑑賞教室には、小学校6年生の児童776名が参加し、日本ニューフィルハーモニック管弦楽団のオーケストラで、ブラームスのハンガリー舞曲第5番などの演奏を鑑賞した。

児童の鑑賞態度もよく、オーケストラの奏でる音色に引きつけられる様子で聞いていた。児童が指揮者体験を行うことや、オーケストラの伴奏に乗せて全員合唱を行うことができた。全員合唱の「ビリーブ」は声もよく出ており、会場が一体となったことが印象的であった。

小学校オーケストラ鑑賞教室では、格調高い生演奏を聞くという貴重な経験を通して、児童の音楽を愛する心情や豊かな情操を育むことができたと考えている。また、音楽鑑賞をする上での態度や、ホールという公共の場での過ごし方など、マナーということについても学ぶことができ、大きな成果があった。

なお、次年度の会場についても武蔵野市民文化会館を予定している。

以上である。

山本教育長 何かご質問等はあるか。よろしいか。

その他、学校教育部からほかに報告事項があれば報告をお願いします。

川合学校  
教育部長

特にない。

山本教育長

生涯学習部から報告があればお願いする。

内田生涯  
学習課長

第22回ウォーキングフェスタ東京ツデーマーチについて、ご報告する。

4月29日、30日に第22回ウォーキングフェスタ東京が開催され、都立小金井公園をスタート、ゴールの中央会場とし、5キロ、10キロ、20キロ、30キロの4コースを、29日は4,046人、30日は3,494人、2日間の合計だと7,540人にご参加をいただいている。

また、本大会では市内の中学校にもご協力をいただき、中学生ボランティアを募集させていただいた。参加していただいた中学生は、29日が24人、30日が32人、2日間で実数で43人の生徒にご協力いただき、参加者のお見送り、お出迎え、スタンプ押しなどのお手伝いをしていただいた。

なお、当日の様子は、4月30日の朝日新聞朝刊の25面に掲載され、中学生ボランティアに関する記事も掲載されていたので、参考配付させていただいた。

以上である。

山本教育長

先ほど鮎川委員からもあったが、何かご質問等はあるか。

私から2つ質問していいか。

先ほどの数字、参加人数と中学生のボランティアの数、これは例年に比べてどうだったのか。増えているのか。

内田生涯  
学習課長

参加人数であるが、昨年が2日間で7,686人だったので、140人減となっている。ボランティアのほうは、少しお待ち願う。

山本教育長

もし資料がなければ後でもいい。

内田生涯  
学習課長

後ほど。

山本教育長           あと、もう一つ質問であるが、私、挨拶をした後に、野川のくじら山のほうで地区委員会主催の子どもの運動会が行われていたので、そちらに自転車で行ったが、ちょうど野川のほつりを、ウォーキングフェスタに参加している人たちが歩いていた。上のほうの道を歩いている人と、下におりて川に沿ってほつりを歩いている人がいたが、どうせなら川の下をみんな歩けばいいのにと思ったが、コースについてはどうなのか。生涯学習課は、そこまでは関知していないか。

内田生涯  
学習課長           そこまでは、こちらでは関知していない。

山本教育長           野川沿いの道は、せつかくいいコースなので、という感想を持った。わかつた。  
それでは、(2) スポーツ推進計画について、お願いします。

内田生涯  
学習課長           小金井市スポーツ推進計画についてご説明する。  
本計画策定の経緯であるが、本計画はスポーツ基本法第10条の規定に基づき、さきに発表されたスポーツ基本計画及び東京都スポーツ推進計画を基調としており、これからのスポーツ推進を、より効果的で実践的なスポーツ施策の計画的な推進を図るために策定したものである。

また、市民が日常的にスポーツや運動に取り組む機会を創出し、長期的に健康寿命を増進させていく施策を確立し、小金井市第四次基本計画、その他関連する諸計画との整合性を図りながら推進していくものである。

計画の策定に当たっては、現状、課題等を整理しながら、学識経験者、市内スポーツ関連団体からの推薦者、介護及び障害者関係からの推薦者、市民公募、計10名で構成された小金井市スポーツ推進計画策定委員会で策定した、小金井市では初の計画となる。

2020東京オリンピック・パラリンピックについては、障害者スポーツへのサポート、施設のユニバーサル化、競技力向上に向けた選手育成について触れている。

以上が説明となるが、ご意見等があったら、後日お寄せいただければと思う。

以上である。

山本教育長

ありがとう。

ここで私から一つ確認したい。生涯学習部長の意見を聞きたいが、通常、ほかの課を見ると、コンサルタントに頼んでこういうものをつくるというケースが小金井市役所は多いが、教育委員会では自分たちでつくるケースが多い。これ、両方ともプラス面とマイナス面があると思う。今回、これをつくってみてどうだったか。コンサルタントに頼まないでこっちでやったということで、プラス面とマイナス面があると思う。

西田生涯  
学習部長

プラス面としては、市民の方を交えた、専門家の方も入っているが、委員会の中でもんでいただいて、まとめていったということで、市民参加という意味では、皆さんでまとめていただいたという側面が大きかったなと思っている。いわゆるコンサルタントがつくって、それに意見を寄せて、次のときにコンサルが修正案を持ってくるということではなくて、あくまでも委員会を主体として策定したこと。さらにそこに、もう一つ重要なことは、職員がまとめる力というものを、この計画をつくるに当たって培っていったということが非常に大きかったと思う。

翻って、コンサルタントを入れた場合は、専門的な知見等のデータ収集等については効率的に進めることができるということがあがるが、それには利益を含めた費用というものもかかってくる。時間もかかる。そういう意味で、自分の市のことは自分の市の中で調べて、それを使っていくんだということが、職員の中にも意識が浸透していったという点では、コンサルを入れることのメリットを上回る成果が上がっていると思う。

なお、図書館についても、現在、コンサルを入れずに、中長期計画の先駆けになる「図書館のあり方について」を検討しているところである。

以上である。

山本教育長

大変いいものができたと思う。ご苦労さまであった。

次に、今後の日程について、ご報告をお願いする。

中島庶務係長

それでは、教育委員会の今後の日程について報告する。

平成29年第6回教育委員会定例会が、5月23日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（神奈川大会）が、5月26日、金曜日、神奈川県大和市やまと芸術文化ホールで開催される。福元委員のご出席をお願いする。

続いて、東京都市町村教育委員会連合会第61回定期総会が、5月31日、水曜日、東京自治会館講堂で開催される。山本教育長、福元委員、渡邊委員のご出席をお願いする。

続いて、平成29年第7回教育委員会定例会が、7月11日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、平成29年第8回教育委員会定例会が、7月25日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

今後の日程は以上となる。

山本教育長

以上で本日の日程は全て終了した。これをもって平成29年第5回教育委員会定例会を閉会する。

閉会 午後1時55分